

「全国学生調査(第4回試行)」結果から見た 倉敷市立短期大学の学習成果【詳細版】

1 調査の目的

「全国学生調査」は、学生の学びの実態を学生自身の視点から把握し、教育の改善や政策づくりに役立てることを目的に行われています。

2 参加状況

令和6年度に実施された第4回試行調査には、全国700校、100万人を対象に実施し、約14万人が回答しました。

短期大学の回答率は38%と、大学の13%を大きく上回り、短期大学生が調査に積極的に協力している姿が浮かび上がりました。

本学の回答状況

- 保育学科: 対象者59名、回答者56名(回答率95%)
 - 服飾美術学科: 対象者49名、回答者42名(回答率86%)
 - ➡ いずれも高い回答率となっており、学生の声がしっかりと反映されています。
-

3 全国的な傾向

全国の短期大学の学生からは次のような高い評価が得られました。

- 理解しやすい授業: 95%
- グループワークやディスカッションの機会: 91%
- 学びを通じた成長実感: 92%
- 将来につながる知識・スキルの獲得: 95%

これらの結果から、短期大学が果たす職業教育の成果が明確に示されました。

一方で、大学と同様に 外国語力、データサイエンス力、学習時間の不足 といった課題も確認されました。

- [令和6年度「全国学生調査\(第4回試行実施\)」の結果について\(報道発表\)\(PDF:2388KB\)](#)
 - [令和6年度「全国学生調査\(第4回試行実施\)」結果\(短大\)【資料編】\(Excel:1335KB\)](#)
-

4 本学の結果(問1～問4:授業や学びの成果に関する設問)

(1) 保育学科

①強み

- **授業の理解のしやすさ**
多くの学生が「理解しやすい」と感じており、授業運営はおおむね評価されています。
- **予習・復習の指示**
授業外学習への指示は比較的明確で、一定の学習習慣づけが行われています。
- **成長実感**
「学びを通じて成長を実感している」との回答は高く、基礎的な学修成果は着実に身につけています。

②課題

- **課題へのコメント(フィードバック)**
不十分と感じる学生が目立ち、改善の余地があります。
- **グループワーク・質疑応答**
機会はある程度あるが、質疑応答については十分ではないとの声が多く、双方向性に課題があります。

➡ 保育学科は、授業理解や成長実感は高い一方で、フィードバックや質疑応答の不足が見られ、授業改善の課題となっています。

(2) 服飾美術学科

①強み

- **授業の理解のしやすさ**
多くの学生が理解できていると答えており、学びの基盤は安定しています。

- **グループワークや質疑応答**
学びを深める機会は一定程度確保されています。
- **成長実感**
「専門的な学びを通じて成長を実感している」との回答はおおむね全国平均並みで、成果は確かに現れています。

②課題

- **予習・復習の指示**
十分ではないと感じる学生が一定数おり、改善の余地があります。
- **課題へのコメント(フィードバック)**
必ずしも十分ではなく、改善が望まれます。

➡ 服飾美術学科は、**成長実感や授業理解は安定していますが、予習・復習の指示や課題フィードバックの不足が課題として浮かび上がっています。**

5 本学の結果(問5:学習時間や課外活動に関する設問)

(1) 保育学科

①強み

- **授業出席(問5-1)**
16～20時間に集中し、安定した出席状況がうかがえます。
- **卒業研究(問5-2)**
多くの学生が取り組み、一定の学習時間を確保しています。
- **自主学習(問5-4)**
「ゼロ」と答える学生は少なく、一定数が意欲的に取り組んでいます。
- **部活動(問5-5)**
比較的多くの学生が参加しています。

②課題

- **授業外学習(問5-3)**
1～5時間程度が大半を占め、長時間取り組む学生は少ないです。
- **アルバイト(問5-6)**
「無アルバイト」層は少なく、6～15時間程度勤務する学生が多いです。

→ 保育学科は、授業や卒業研究に安定して取り組み、部活動や自主学習も一定の水準にあります。課題は授業外学習時間の短さです。

(2) 服飾美術学科

①強み

- 卒業研究(問 5-2)
全員が一定時間以上取り組んでおり、研究姿勢は積極的です。
- 授業外学習(問 5-3)
中程度の学習時間を確保する学生が多いです。

②課題

- 授業出席(問 5-1)
6～10 時間が最も多いが、1～5 時間や 16～20 時間にも分散しています。
- 自主学習(問 5-4)
「ゼロ」と答える学生が比較的多く、取り組みに差が見られます。
- 部活動(問 5-5)
参加者はごく少数で、活動は限定的です。
- アルバイト(問 5-6)
16 時間以上働く学生が目立ち、学習との両立に課題があります。

→ 服飾美術学科は、卒業研究や授業外学習には積極的ですが、自主学習や部活動は弱く、アルバイト長時間化が課題です。

6 まとめ

本学の学生は、授業の理解のしやすさや学びによる成長実感が高く、教育の基盤は安定しています。

- 保育学科
授業理解や成長実感が高い一方、質疑応答や課題フィードバックの不足が課題です。学習時間では、授業出席や卒業研究に安定して取り組んでいますが、授業外学習の不足が見られます。

- **服飾美術学科**

授業理解や成長実感は安定しているものの、**予習・復習の指示や課題フィードバックが弱い点**が課題です。学習時間では、卒業研究や授業外学習に積極的ですが、**自主学習・部活動が限定的で、アルバイトの長時間化**が学修に影響しています。

→ 全体として、本学の学生は**成長実感**を伴った学びを着実に積み重ねている一方で、**教員からの働きかけの質、学習習慣の定着、生活と学修の両立**に改善の余地があることが明らかになりました。

倉敷市立短期大学では、これらの結果を受け止め、今後も**教育の質の向上と学びやすい環境づくり**に取り組んでまいります。

次ページ、資料



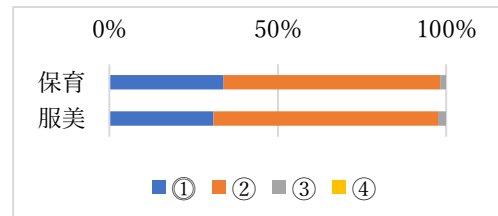
【資料】

I 授業の質・学びの成果に関する設問（問1～問4）

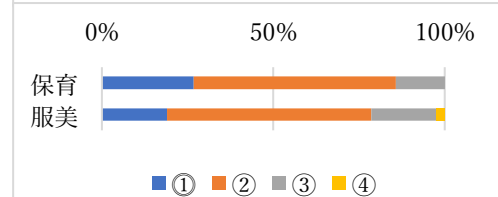
問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

（選択肢：①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった）

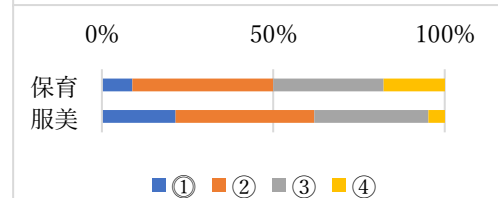
1-1. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。



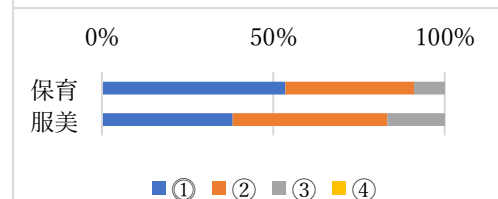
1-2. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。



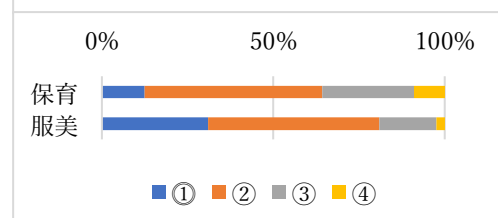
1-3. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。



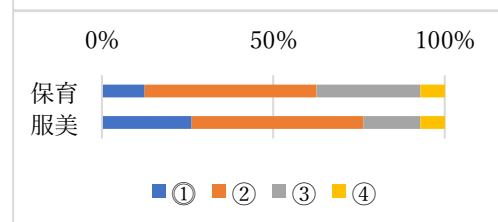
1-4. グループワークやディスカッションの機会がある。



1-5. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。



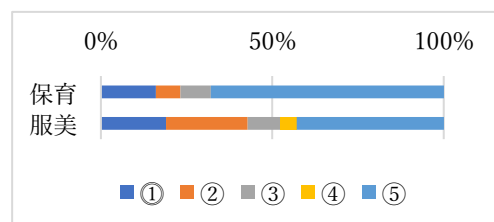
1-6. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。



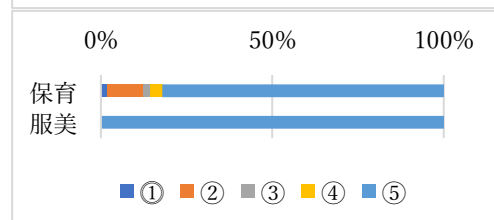
問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。

（選択肢：①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、⑤経験していない）

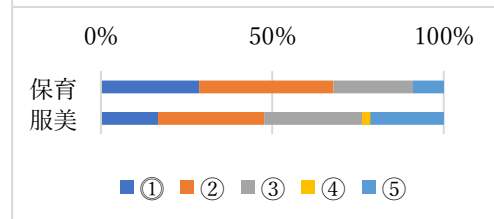
2-1. インターンシップ（5日間以上）



2-2. 海外留学・海外研修（短期も含む）



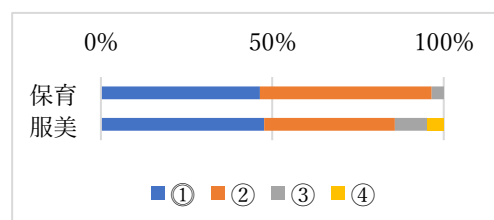
2-3. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



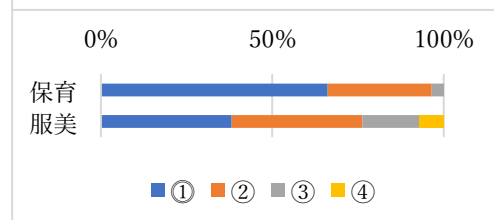
問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

（選択肢：①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない）

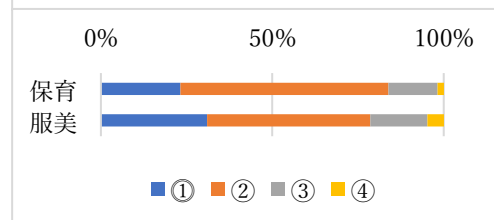
3-1. 専門分野に関する知識・理解



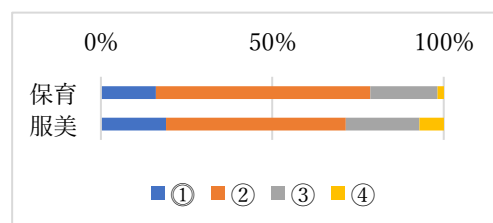
3-2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



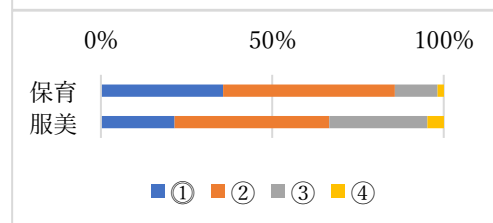
3-3. 文献・資料を収集・分析する力



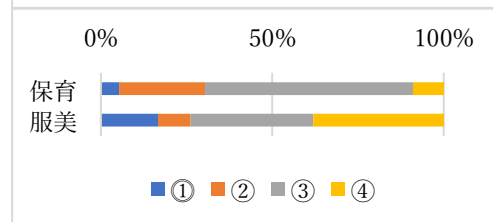
3-4. 論理的に文章を書く力



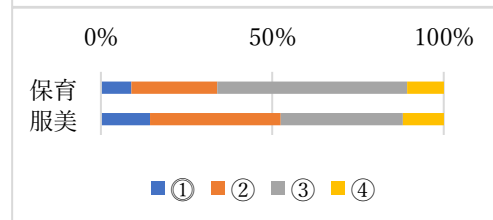
3-5. 人に分かりやすく話す力



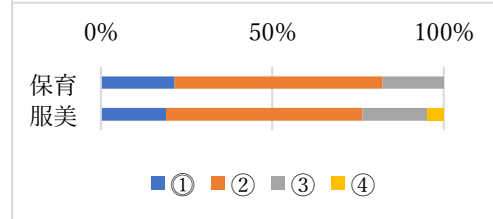
3-6. 外国語を使う力



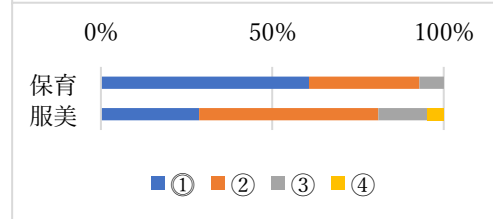
3-7. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



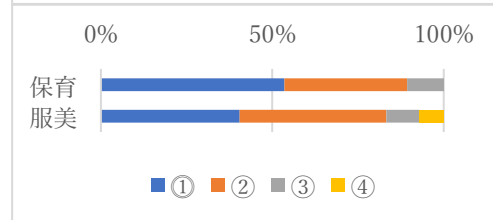
3-8. 問題を見つけて解決方法を考える力



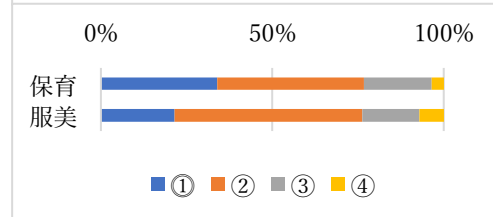
3-9. 他者と協働する力



3-10. 幅広い知識、ものの見方



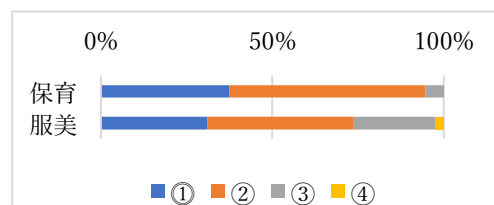
3-11. 異なる文化に関する知識・理解



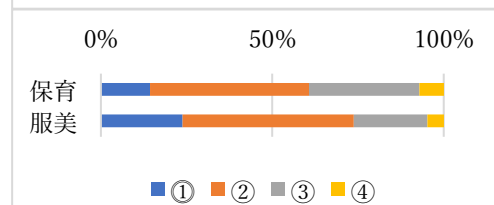
問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

(選択肢：① そう思う、② ある程度そう思う、③ あまりそうは思わない、④ そうは思わない)

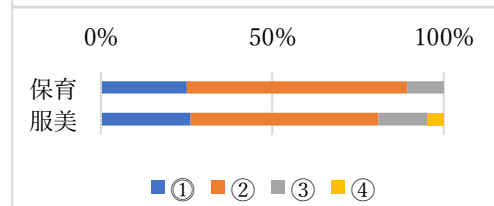
4-1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。



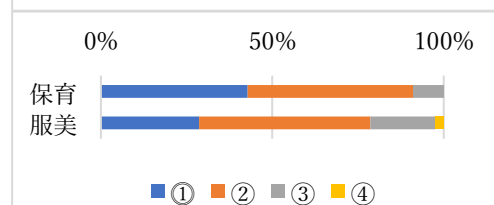
4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。



4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。



4-4. 大学の学びによって成長を実感している。

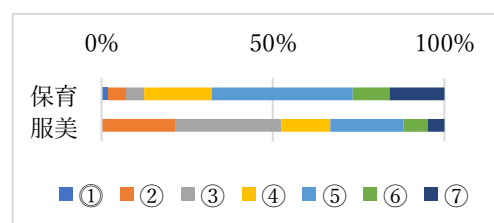


Ⅱ 学習時間・課外活動に関する設問（問5，Q28～Q33）

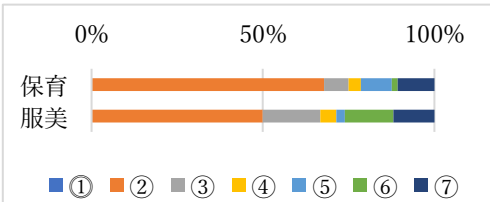
問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

(選択肢：① 0 時間、② 1-5 時間、③ 6-10 時間、④ 11-15 時間、⑤ 16-20 時間、⑥ 21-30 時間、⑦ 31 時間以上)

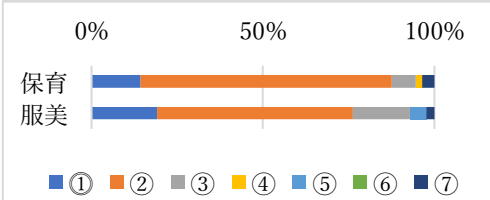
5-1. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



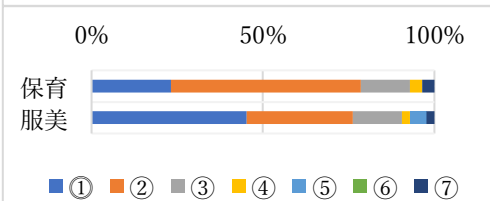
5-2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作



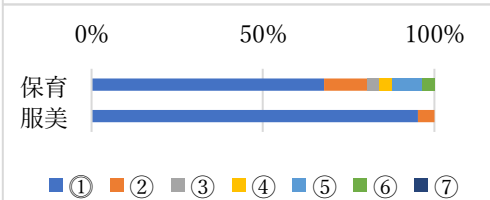
5-3. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）



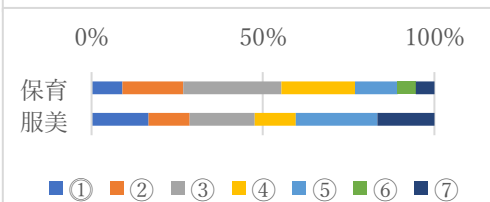
5-4. 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）



5-5. 部活動／サークル活動



5-6. アルバイト／定職



以上